

数Ⅱ 【微分法と積分法】面積

2014 名古屋大学 理系(前期)【2】

実数 t に対して 2 点 $P(t, t^2), Q(t+1, (t+1)^2)$ を考える。 t が $-1 \leq t \leq 0$ の範囲を動くとき、線分 PQ が通過してできる図形を図示し、その面積を求めよ。

線分の通過領域の問題である。実際に直線を動かすことで、イメージをつかみやすい。 $y = x^2 + \frac{1}{4}$ が
な

ぜ出てくるのかをつかむことができる。



